TK6

300357

□要

□明

TK6□、遺伝性球状赤血球症と診断された5歳の男性の脾臓由来のリンパ芽球細胞株である。この細胞株 □、チミジンキナーゼ（TK）遺伝子座でヘテロ接合体であることが特に注目され、遺伝子研究における有用性を支えている。 TK遺伝子座におけるヘテロ接合性により、 TK6細胞□前方変異を検出するための高感度モデルとして機能し、変異原性試験や遺伝毒性研究のための強固なプラットフォームを提供する。
この細胞□´tk遺伝子座におけるトリフルオロチミジン耐性を含む、 3つの遺伝子座における前方変異を定量的に検出するようにデザインされたアッセイに広く用いられている。この能力により、TK6□製薬および化学産業において、新規化合物の変異原性の可能性を評価するための貴重なツールとなっている。この細胞株のユニークな遺伝的背景と疾患との関連性□´突然変異のプロセスを理解し、制御された環境での化学物質曝露の細胞遺伝学的影響を評価することに焦点を当てた研究にとって重要なリソースとなっている。

ティッシュ	脾臓

同義語

- TK-6
- H2BT

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	サスペンション
バイオセーフティレベル	2

特徴

細胞の種類	リンパ芽球

識別子

引用

TK6 (Cytionカタログ番号 300357)

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_0561

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640´w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37°C´5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に熱不活性化10% FBS´2,5% ウマ血清を加える。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

継代培養

培養を開始する際の細胞密度□5×10⁵細胞/mlとし、維持時に□1×10⁵～1×10⁶細胞/mlの範囲に保つ。継代培養を行う際 □、細胞懸濁液を適切な量の新鮮な培養培地を予め充填した新しい培養フラスコに移す。

播種密度	1 × 10⁵ 細胞/mL
流体の更新	週2～3回

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染□′PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物 □毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地として□、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、また□回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存□、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株□、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	5年

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣 □不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中また□液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中に □、フェイスマスクまた□安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これ □、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオン□、製品の品質と生存率を保証します。
当社で□、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／また□製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細について□′<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB